

こんな先生
いるよ!

大好きな日本と

ベトナムの架け橋に なることが使命

理学部第二部 化学科 准教授

レバンコア

Khoa Van Le 先生

高強度・強靱性のゲル材料

どのような研究をされていますか。

有機化合物による新しい材料の開発を行っています。水と高分子を合わせることでドロゲルという種の物質になります。ドロゲルは身近なものではありません。こんにやくや豆腐、ゼリーなどがありますが、そこに色素液晶（水中で液晶相を形成したイオン性化合物）を加えると、輪ゴムのようにしなやかでよく伸びて切れにくい、高強度で強靱性を持つ材料「液晶ゲル」になります。ゲルの主成分は水であるため、その生体適合性は高く、人工関節の素材として再生医療分野での活用が期待されます。一方、研究の過程で液晶ゲルは水中で粘性を発揮することが分かりました。この特性を生かして海洋汚染の解決に貢献すべく、回収が難しいとされる海中のマイクロプラスチック捕集の研究も行っています。

人と話すのが好き、日本が好き

来日のきっかけは。

私はベトナムのホーチミン市出身です。大学1年時に掲示板で日本への国費留学生募集の貼り紙を見たのがきっかけで選考試験を受け、来日しました。留学で知識や技術が身に付いた



2019年以來となる研究室合宿で山梨へ（2025年8月）



2025年6月のオープンキャンパスでは、見学ツアーに参加した高校生に実験について説明



オーストラリア在住の幼なじみと13年ぶりに日本で再会、息子と箱根を案内した

ら帰国するつもりでしたが、日本が好きになり、そのまま残っています。博士号を取った当時、液晶の研究を続けるための実験装置などがベトナムには揃っていなかったという事情もありましたが、日本のために何かをしたいという気持ちの方が強かったと思います。私はとにかく人と話すのが好きで友人も多いです。ベトナムには年1回帰国しますが、毎回、ベトナム国内外で活躍する友人がたくさん集まります。もちろん日本で働く仲間も多く、海外から日本へ自分を訪ねてくる友人もいます。異文化や考え方の違いなど、様々な情報を交換し合うことで大好きな日本とベトナムの架け橋になれたら最高ですし、両国に恩返しをするべく、架け橋になることが使命だとも思っています。

理科大へは、液晶分野での公募を機に10年前に着任しました。東工大の大

息子は大学の温泉好き

休日は何をされていますか。

息子と一緒に過ごします。大学の温泉好きで、どこで遊んでも最後はいつもスーパー銭湯に行きたがります。いつも息子を日本の三大温泉（有馬・草津・下呂）に連れて行ってあげたいと思っています。藤沢享乃（ジエイクリエイト）

学院在学中は、周囲に理科大出身者が多く、自分にとって身近な存在だったのと、研究に最適な環境に違いないと考えたのが理科大にきた理由です。所属する理学部第二部には、実は公式サイト以外に「オリジナルホームページ」というものがあり、私はその管理を共同担当しています。また、年3回行う「第二部オープンキャンパス」の広報戦略委員も務めています。第二部のことなら何でも聞いてください。